# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No. 1068 (H.22)No. 1073

事務事業名	地域医療推進事業					
担当き	担当部局名     担当室名      室長名    連絡				連絡先	
健康福祉部地域医療室				冨岡憲子	63-6970	
新·継	新·継事業期間			根拠法令等		
新規 平成	21 年度~ 平	成 年度	年度			

事	ソフト施策事業
業区	扶助費
区分	補助金交付金
· 複	投資事業
数選	施設等維持管理
択可	内部管理事務
)	特別及び企業会計、組合

#### 1. 事務事業の位置付け

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
総	政 🕏	€ 1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし		
合	基本政策	€ 4	健康長寿のまちづくり		
計	施	€ 2	地域医療		
画	小施;	€ 1	地域医療体制の充実		
重片	点施策コー	F 1-2	2.安心できる医療体制の整備(在宅医療体制の充実)		

## 2. 予算区分

	会計区分	事業コード 250601		
	一般会計	(中事業名)		
款	物 衛生費 地域医療推進事業			
項	項 保健衛生費 (小事業名)		事業名)	
目	保健衛生総務費	地域医療	療推進事業	

## 3.事務事業の概要

#### 事業概要

市民が安心して住みなれた地域で暮らすための医療や介護が受けられる在宅医療体制を構築するため、名賀医師会をはじめ医療機関・福祉機関従事者と協力し、体制整備にむけた検討会、講習会、研修会などを実施している。また、平成23年度に「在宅医療支援センター」の設置を目指している。

### めざす効果(事業目的)

|検討会等を踏まえ、在宅医療体制の拠点となる「在 |宅医療支援センター」を設置し、医療機関・福祉機関 |等が連携して、また地域住民に協力いただき、市民 |が地域において安心して暮らすことができるよう支え | るシステムを構築する。

### 4.総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

		平成21年度	平成22年度		現在	の実施手法(複数)	選択可)
		(実績·決算見込)	(計画·6月補正後予算)		市が直接実	€施	
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]		業務委託(:	全部・一部) により写	€施
					指定管理		
					補助金·交	付金	
		  ·地域医療(ケア)整備検討委	·検討委員会 7回予定		その他(		)
	主な事業の	記域医療(ケア) 空間検討安   員会 毎月1回(11月休)   委員数15名   ・「地域医療(ケア)を考える	·部会(3部会) 各部会5回予 定	3	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
	実績・計画	フォーラム」開催(1回) 約150名参加 ・従事者研修会 1回 ・先進地視察2回	1回) ガイドブック・マップ作成部 会、基本情報作成作業部会】		宅医療支援セ ゚ーを設置、稼 運営委託	·在宅医療支援セ ンターの運営委託	
4	業費 (千円)	1,427	800		5,500	5,500	5,500
	国庫支出金						
り財	県支出金	1,427			5,500	5,500	5,500
源	地方債						
内	その他()						
訳	一般財源		800				
	職員(人)	0.33	0.90		0.90	0.90	0.90
7.7.1	臨時職員等(人)	0.400	1.00		0.570	0.570	0.570
	件費 (千円)	2,409	8,270	_	6,570	6,570	6,570
ME	<b>費用 + (千円)</b>	3,836	9,070		12,070	12,070	12,070

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。

5		主な事業指標と成果	
•	٠	上でデオコロホレル不	

	事業指標名			H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標実績	地域医療体制に満足している市民の割合	%	29.4	32.4			31.0
	目標 実績							
	目標実績							
考察及び今後 の対応方針		よりよい成果が得られるよう努める。						

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)

高齢化が進む中、自宅や住み慣れた地域で療養したいと思っている方が多く、その内、実現は難しいと考えている方の割合が高い。 在宅医療を取り巻く環境を整備し、望むところで医療等のサービスが受けられ、地域住民により支えあう体制づくりが必要である。

市民·事業関係者·	団体等からのこれ	までの主な意見
-----------	----------	---------

## 7.担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

/・1三コ主による無仗「手切手来であり及べ(政権化)する					
(1)協働の取組(「新しい公」の推進)					
協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について				
実践している( へ) ▼	その他団体( へ) ▼				
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について				
その他( へ) ▼	市が直接実施    ▼				
	備考欄				
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さら	らに図ることができますか				
検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼					
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合な	を図ることができますか				
現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である					
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る	ことができますか				
できる(現在考えられる方法·工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼ □ ※ HBD					
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか					
できる( 現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載					

## 8.今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

١	0.ラ後の手材手架の万円(点快を踏まんに担当主による内部計画)	_	
/	総合評価(事業の展開方法)		特記事項
	継続(拡大)( 今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼		
	(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など		
	関係機関等の連携など効果的に事業展開するための手法を検討中		
	(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など		
	平成23年度稼動に向け関係機関と調整をすすめる。 医師会への委託事業として事業展開することについて調整をすすめる。		

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No. (H.22)No. 5010

事務事業名	保健センター管理費						
担当	当部局名 担当室名			室長名	連絡先		
健康	福祉部	地域医	<b>寮室</b>	冨岡憲子	63-6970		
新·継	事業期間根拠法令等						
継続 平成	年度~ 平	成 年度	名張市保健センター設置条例				

事	ソフト施策事業
業区	扶助費
区分	補助金交付金
複	投資事業
数選	施設等維持管理
択可	内部管理事務
<b>-</b> j	特別及び企業会計、組合

#### 1. 事務事業の位置付け

総	政		策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
合	基	本政	策	4	健康長寿のまちづくり
計	施		策	1	健康づくり
画	小	施	策	2	保健予防の充実
重点	施	策コ	<b>–</b> ľ		

## 2. 予算区分

	会計区分	事業コード	255001		
	一般会計	(中事業名)			
款	衛生費	保健センター管理費			
項	保健衛生費	(小事業名)			
目	保健センター管理費	保健セン	/ター管理費		

### 3. 事務事業の概要

#### 事業概要

市民の健康保持及び増進を図るための健康づくり及び地域医療の拠点施設として、保健センターの管理・運営を行う。建物及び付帯設備の保守点検など、施設の維持管理を行う。

#### めざす効果(事業目的)

市民が利用しやすい環境を保ち、健康づくり・地域 医療の拠点とする。

## 4.総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度	平成22年度		現在	の実施手法(複数	選択可)
	(実績・決算見込)	(計画·6月補正後予算)		市が直接第	<b>尾施</b>	
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	L	業務委託(	全部・一部)により	実施
			L	指定管理		
				補助金·交	付金	
			L	その他(		)
主な事業の	施設にかかる光熱水費、 保守点検、修繕、電話料等 施設の維持管理にかかる費	 		成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
実績·計画	用 行事等の回数 約380回 施設利用者数 延約9,000 名	保守点検、修繕、電話料等 施設の維持管理にかかる費 用	施設にかかる光 熱水費、保守点 検、修繕、電話料 等 施設の維持管理 にかかる費用		施設にかかる光 熱水費、保守点 検、修繕、電話料 等 施設の維持管理 にかかる費用	施設にかかる光 熱水費、保守点 検、修繕、電話料 等 施設の維持管理 にかかる費用
事業費 (千円)	5,920	6,924		6,924	6,924	6,924
国庫支出金						
の県支出金	7	335				
財地方債						
内  その他( )	403	405		405	405	405
訳一般財源	5,510	6,184		6,519	6,519	6,519
人 工 数 臨時職員等(人)	0.90	0.55		0.55	0.55	0.55
人件費 (千円)	6,570	4,015		4,015	4,015	4,015
総費用 + (千円)	12,490	10,939		10,939	10,939	10,939

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。

その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか			事業指標	名			単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
■ 目標 実績  ■ 目標 実績  ■ 事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)  和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加 たいる。  第 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]  「協働の取組(「新しい公」の推進)  「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「関係の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である  「現在の事業ではない、連携や統合は困難である  「大きな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である  その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか  「大きな財源確保・事業に係る負担の見直しは困難である  その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか  「大きな財源確保・事業に係る負担の見直しは困難である  「大きな財源確保・事業に係る負担の見直しは困難である  「大きな財源確保・事業に係る負担の見直しは困難である  「大きな財源確保・事業に係る負担の見直しば困難である  「大きな財源を保・事業に係る負担の見直しば困難である」  「おきな財源を保・事業に係る負担の見直しば困難である」  「おきな財源を保・事業に係る負担の見直しば困難である」  「おきな財源をよりないできますか」  「おきな財源をよりを表していてきますか」  「おきな財源をより、表していてきますか」  「おきな財源をより、表していてきまな財源をより、表していてきまな財源をよりますが、表していてきまな財源をよりますが、表していてきまな財源をよりますが、表していてきまな財源をよりますが、表していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい												
実績 日標 実績 日標 実績  「特察及び今後 の対応方針  「事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)  和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加 にいる。  「担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]  「協働の取組(「新しい公」の推進)  「協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ) ▼						$\dashv$						
事業を取り巻く環境  事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)  和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加 にいる。  和29年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加 にいる。  和39年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加 にいる。  お働等の取組(新しい公の推進)  協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ) ▼												
事業で取り巻く環境 事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)  和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加 にいる。  ・担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために] ・協働の取組(「新しい公」の推進) ・協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)  「は協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)」 ・「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)」 ・「現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の事業でのもの、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ・「実対しているが、できますが、できまが、できますが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できま												
事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)  和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加ている。  ・担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]  ・協働の取組(「新しい公」の推進)  協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)  「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「協働等の今後の取組について市が直接実施  「備考欄 (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか現在の手法が妥当である。  「製薬効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である  「製液の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表												
(対象者やニーズ、法令・制度の改正等) 和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加ている。 <b>担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]</b> 協働の取組(「新しい公」の推進) 協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)  「最優等の主な形態について(現在および今後の可能性)  「中できますが関連を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか関連を再高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか関連を可能してある。 「関連を与えばいる。」 「現在の手法が受当であり、連携や統合は困難である」 「現在の手法が受当であり、連携や統合は困難である」 「現在の手法が受当であり、連携や統合は困難である」 「現在の手法が受当であり、連携や統合は困難である」 「現在の手法が受当であり、連携や統合は困難である」 「現在の手法が受当であり、連携や統合は困難である」 「対策を関連を表しますができますが関連を表しますが関連を表しますが表しますがある。 「本の他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますが	事業を	取り巻くヨ	景境									
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	(文				等)		市	民·事業関	係者·団体	等からのこ	れまでの主	な意見
は は は は は は は は い い で は は は い い で は は は は					く(最適化	) する	ために	-]				
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)  ▼ 協働等の今後の取組について 市が直接実施  (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。  ▼ 調業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である  ▼ 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である  ▼ 不会の他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか							協働	事の主な村	 目手先につ	いて		
□ 市が直接実施  (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	:践してい	1ない(適当	áではない)( 	^)		▼						
(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。  事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である  承 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である  ▼ その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか	品働等の	主な形態	について(現在	Eおよび今後	後の可能性				の取組につ	いて		▼
現在の手法が妥当である。  事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である  新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である  ▼  その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか											備考欄	
事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼ 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼ その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか				高める方法	や工夫等を	: , <b>さ</b> ら1	に図る	ことができま				
現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である  新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である  ▼  その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか				D事務事業	との連携や	統合を	図るこ	とができます	<b>まか</b>			
新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である  ▼  その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか												
その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか	fたな財	源確保や	事業に係る負	担の見直し	等を、さらに	図るこ	とがで	きますか				
	îたな財i	原確保、事	業に係る負担	の見直しは困	<b>封難である</b>				<b>T</b>			
<u>▼</u>			効率性を高める	3ための工規	夫や取組を	図るこ	とができ	きますか				
	難である	ර 							▼			
ᇫᄽᆃᆓᅏᆓᆇᆇᇫᅩᆂᆺᅡᅜᆇᇏᅷᅩᆿᆂᄺᇄᆄᆖᇉᇉᆿᆂᇏᆄᄱᇎ					+ <b>4</b> 5324	- L-						
. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価) 総合評価(事業の展開方法) 特記事項	<b></b>	<b>事務事</b>		灰を踏まん	.た担当室	による	四部	評1四)			特記事項	
[継続(現行どおり)( 理由 (2)へ) ▼			/庞伊 刀/広					-				
短期的な(平成22年度)事務事業の工夫·改善など	合評価	「事業の		<b>\</b> )								

市民の健康保持及び増進、地域医療の拠点である施設の管理・維持のため継続が必

要である。

(平成22年7月作成) (様式1)

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No. (H.22)No. 6072

事務事	事業名	保健衛生総務一般経費									
	担当部	18局名	担当室	名	室長名	連絡先					
	健康社	<b>晶</b> 祉部	地域医	<b></b>	冨岡憲子	63-6970					
新·継	f·継 事業期間 根拠法令等										
継続	平成	年度~ 平	成 年度								

事	ソフト施策事業
業区	扶助費
分	補助金交付金
複	投資事業
数選	施設等維持管理
択可	内部管理事務
<u> </u>	特別及び企業会計、組合

### 1. 事務事業の位置付け

総	政		策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
合	基	本政	策	4	健康長寿のまちづくり
計	施		策	2	地域医療
囲	小	施	策	1	地域医療体制の充実
重片	(施	策コ	<b>–</b> ř		

## 2. 予算区分

	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
	会計区分	事業コード 250501			
	一般会計	(中事業名)			
款	衛生費	保健律	<b>f生総務費</b>		
項	保健衛生費	(小事業名)			
目	保健衛生総務費	保健衛生	総務一般経費		

## 言数言半の塩苗

5. 季務季菓の微安	_	
事業概要		めざす効果(事業目的)
医療に関する事務経費	<b>\$</b>	保健衛生行政の円滑な実施
4.総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画		<u> </u>

	平成21年度	平成22年度		現在の実施手法(複数選択可)			
	(実績・決算見込)	(計画·6月補正後予算)	L	市が直接領			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]			全部・一部)により	実施	
				指定管理			
				補助金·交	付金 ——————		
			L	その他(		)	
主な事業の	事務経費	事務経費 用紙·書籍等事務用消耗品		成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	
実績·計画	用紙等 事務用消耗品費	西部では 費 医療に関する研修等旅費					
			事務約	经費	事務経費	事務経費	
事業費 (千円)	100	105		105	105	105	
国庫支出金							
の県支出金		67					
財地方債							
内  その他( )							
訳 一般財源	100	38		105	105	105	
人 工 数 臨時職員等(人)	0.13	0.10		0.10	0.10	0.10	
人件費 (千円)	949	730		730	730	730	
総費用 + (千円)	1,049	835		835	835	835	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。

事業指標名	単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
■ 目標 ■ 実績						
目標 実績						
目標 実績						
号察及び今後 の対応方針						
事業を取り巻く環境						
事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市	ī民·事業関	係者·団体	等からのこ	れまでの主	な意見
	L	<b>-</b> 1				
担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)する 協働の取組(「新しい公」の推進)	אנשאנ	<u>- ]</u>				
協働等は実践していますか	協働	動等の主な相	  手先につ	いて		
実践していない(適当ではない)( へ) ▼						▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼		動等の今後の 直接実施	り取組につ	いて		•
					備考欄	
	るに図る	ことができま			備考欄	
現在の手法が妥当である。			▼		備考欄	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合で			▼		備考欄	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合で現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る	を図るこ	とができます	か		備考欄	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	を図るこことがで	とができます うきますか	▼		備考欄	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るこ	を図るこことがで	とができます うきますか	▼		備考欄	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るこ 困難である	を図るこ ことがで ことがでも	とができます さますか きますか	▼		備考欄	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るこ 困難である	を図るこ ことがで ことがでも	とができます さますか きますか	▼		特記事項	
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るこ 困難である	を図るこ ことがで ことがでも	とができます さますか きますか	▼			
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るを困難である  ・今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による) は合評価(事業の展開方法)  「継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	を図るこ ことがで ことがでも	とができます きますか <b>評価</b> )	▼			
(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さら現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るを困難である  ・今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による)の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による)の事務事業の方法) 「継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	を図るこ ことがで ことがでも	とができます きますか <b>評価</b> )	▼			
現在の手法が妥当である。 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図る新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るを困難である  ・今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室によ総合評価(事業の展開方法)  継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	を図るこ ことがで <b>る内部</b>	とができます きますか <b>評価</b> )				

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No. (H.22)No. 6073

事務事	<b>事業名</b>	応急記	応急診療所費									
	担当部	部局名		担当室	名	室長名	連絡先					
	健康社	富祉部	a祉部 地域医療室 冨岡憲子 63-6970									
新·継		事業期間             根拠法令等										
継続	昭和	59 年度 ~	9 年度 平成 年度 名張市応急診療所の設置及び管理に関する条例									

事	ソフト施策事業
業区	扶助費
分	補助金交付金
· 複	投資事業
数選	施設等維持管理
択可	内部管理事務
<b>-</b> J	特別及び企業会計、組合

#### 1. 事務事業の位置付け

総	政		策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
合	基	本政	策	4	健康長寿のまちづくり
計	施		策	2	地域医療
画	小	施	策	2	救急医療体制の充実
重点	<b>京施</b>	策コ	— K		

## 2. 予算区分

	<del></del>					
	会計区分	事業コード 25550				
	一般会計	(中事業名)				
款	衛生費	応急診療所費				
項	項 保健衛生費 (小事業名)					
目	応急診療所費	応急	診療所費			

### 3. 事務事業の概要

#### 事業概要

名賀医師会、名賀保険薬局会の協力のもと、休日及び夜間の急病患者に対し 応急的な医療を提供する。

#### めざす効果(事業目的)

地域住民の休日、夜間の一次救急医療を確保し、 一次・二次の役割分担の徹底及び適正受診を促進 し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。

## 4.総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度	平成22年度		現在	の実施手法(複数	選択可)
	(実績·決算見込)	(計画·6月補正後予算)		市が直接第	<b>ミ施</b>	
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]		業務委託(	全部・一部)により	実施
				指定管理		
	応急診療所の運営、維持管			補助金·交	付金	
	型 ・開所日数∶365日	応急診療所の運営、維持管	L	その他(		)
主な事業の	・受診者数:延べ8,608人 ・診察日及び受付時間: 【平日夜】午後8時~10時	理 開所日数:365日 診察日及び受付時間: [平日夜] 午後8時~11時 [日曜日、祝日、12月31日か 61月3日] 午前9時~12時 年後3時~5時		成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
実績·計画	【日曜日、祝日、12月31日か 61月3日】 午前9時~12時 午後3時~5時 午後8時~10時			診療所の運 維持管理 f日数:365日	応急診療所の運 営、維持管理 ・開所日数:366日	応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数:365日
事業費 (千円	44,112	40,922		40,922	40,922	40,922
国庫支出金						
の県支出金						
財地方債						
内 その他(諸収入	44,112	40,922		40,922	40,922	40,922
訳一般財源						
人 職員(人)	3.50	3.00		3.00	3.00	3.00
数 臨時職員等(人		0.75		0.75	0.75	0.75
人件費 (千円	·			23,175	23,175	23,175
総費用 + (千円	69,662	64,097		64,097	64,097	64,097

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。 平成21年度の( )内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。

		事業指標	名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
	目標実績									
	目標									
	実績   目標									
考察及で の対応	実績   び今後 5方針									
事業	を取り巻く	環境								
		業環境の今後( ニーズ、法令・行		<del>〕</del>	तंः	民・事業関	係者·団体	等からのこれ	れまでの主	な意見
担当	室による点	を午後11時ま 「検 [事務事 」い公」の推進	業をより良く	(最適化)する	<b>ため</b> に	-]				
	は実践して		)		協働	)等の主な村	目手先につ	いて		
実践して	いない(適	当ではない)(	^)	▼						▼
協働等	の主な形態	<b>髪について</b> (現る	在および今後	の可能性)		加等の今後の 直接実施	り取組につ	いて		▼
									備考欄	
			三める亡注		一図ス	ことができま	すかし			
	D事業費の 手法が妥当	範囲で)効果を である。	「同のるりな	や上天寺を、さら	ICE S		<b>▼</b>			
現在の 事業効	手法が妥当 果を一層高	である。	の事務事業と	の連携や統合を			ナか			
現在の 事業効 現在の	手法が妥当 果を一層高 手法が妥当	である。 がるため、他であり、連携や約	の事務事業と統合は困難で	の連携や統合を	・図るこ	とができます	▼			
現在の事業効 現在の 新たな	手法が妥当 果を一層高 手法が妥当 財源確保や	である。 がるため、他であり、連携や約	の事務事業と 統合は困難で 担の見直し等	の連携や統合で ある 手を、さらに図る	・図るこ	とができます	ナか			
現在の事業効現在の部分では、新たなは、新たなは、その他	手法が妥当 果を一層高 手法が妥当 財源確保や オ源確保、 、有効性や	である。  あるため、他であり、連携や終事業に係る負担	の事務事業と 統合は困難で 担の見直し急	の連携や統合で ある 手を、さらに図る	ことがで	とができます	▼			
現在の事業効果を表す。現在の事業効果を表す。	手法が妥当 果を一層高 手法が妥当 財源確保や オ源確保、 、有効性や ある	である。 「めるため、他のであり、連携や終事業に係る負担対率性を高め	の事務事業と 統合は困難で 担の見直し等 2の見直しは困るための工夫	の連携や統合である 等を、さらに図る 難である そや取組を図るこ	ことがで	とができます きますか きますか	▼			
現在の事業効果をはいます。	手法が妥当 果を一層高 手法が妥当 財源確保や 対源確保、 、有効性や ある	である。 「めるため、他のであり、連携や終事業に係る負担対率性を高め	の事務事業と 統合は困難で 担の見直し等 2の見直しは困るための工夫	の連携や統合を ある 等を、さらに図る 難である	ことがで	とができます きますか きますか	▼		特記事項	
現在の事現在の事現在の事現在の事現在の事業を表示しています。 今後 神	手法が妥当 果を一層高 手法が妥当 財源確保、 材源確保、 、有効性や ある	である。  あるため、他のであり、連携や終い事業に係る負担対率性を高め	の事務事業と 統合は困難で 担の見直しは で見直しは困るための工夫	の連携や統合である 等を、さらに図る 難である そや取組を図るこ	ことがで	とができます きますか きますか	▼		特記事項	

休日·夜間、年末年始等の一次救急医療の受け入れを行い、地域住民の一次救急医療を確保するため継続が必要。

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No. 1067 (H.22)No. 1072

事務事	事業名	献血推進事業						
	担当部	部局名		担当室	名	室長名	連絡先	
健康福祉部地域医療					<b>寮室</b>	冨岡憲子	63-6970	
新·継		事業排	明間			根拠法令等		
継続	昭和	49 年度~	平成	年度	安全な血液	<b>複製剤の安定供給の確</b>	保等に関する法律	

	_
ソフト施策事業	
扶助費	
補助金交付金	
投資事業	
施設等維持管理	
内部管理事務	_
特別及び企業会計、組合	ì
	扶助費 補助金交付金 投資事業 施設等維持管理 内部管理事務

#### 1.事務事業の位置付け

	· · 3-003-5-54-5-5-1315								
総	政	策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし					
合	基本政	策	4	健康長寿のまちづくり					
計	施	策	2	地域医療					
	小 施	策	2	救急医療体制の充実					
重,	点施策コ-	<b>−</b> ド	1-1	.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)					

# 2.予算区分 事業コード 250504 一般会計 (中事業名)

 一般会計
 (中事業名)

 款衛生費
 保健衛生総務費

 項保健衛生費
 (小事業名)

 目保健衛生総務費
 献血推進事業

## 3. 事務事業の概要

#### 事業概要

安全な血液の安定した供給·確保のため、名張市献血推進協議会の協力のもと啓発活動を進め、地域住民及び市内事業所等への献血思想の普及に努める。

#### めざす効果(事業目的)

献血に対する思想の普及を図り、理解・協力・参加していただき、血液製剤を確保する。

## 4.総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度	平成22年度		現在	の実施手法(複数)	選択可)		
	(実績·決算見込)	(計画·6月補正後予算)		市が直接第	<b>『施</b>			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]		業務委託(全部・一部)により実施				
				指定管理				
	   移動採血車配車日数			補助金·交	付金			
	22日(延べ53会場)	移動採血車配車予定日数	L	その他(	日赤と共同	で実施)		
主な事業の	内3日 啓発活動実施 ・献血ページェント ・献血推進の日	22日 啓発活動予定 ·献血キャンペーン	平	成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
実績·計画	・ウィンター献血キャン ペーン 献血者数 921名 事業経費 123,600円 啓発用/ベルティー 事務用消耗品等	・献血推進の日 ・ウィンター献血キャン ペーン 献血予定者(目標) 1,034 名 事業予算 135,000円		頭献血 ャンペーン 業所献血 ミ施	街頭献血 キャンペーン 事業所献血 の実施	街頭献血 キャンペーン 事業所献血 の実施		
事業費 (千円)	124	135		135	135	135		
国庫支出金								
の県支出金								
財地方債								
内 その他( )								
訳一般財源	124	135		135	135	135		
人 職員(人)	0.33	0.45		0.45	0.45	0.45		
数 臨時職員等(人)								
人件費 (千円)	2,409	3,285		3,285	3,285	3,285		
総費用 + (千円)	2,533	3,420		3,420	3,420	3,420		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。

## 5.主な事業指標と成果

	<u> </u>	事業指標名	単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標実績	献血協力者数(400ml献血)	人	958	921			
	目標 実績							
	目標 実績							
考察及び今後 の対応方針		事業を推進し、より良い成果が得られるよう努	⋚める。					

## 6.事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条」に規定されている地方公共団体の責務において、三重県・血液センター・名張市献血推進協議会・名張市で協力し、輸血用血液確保のため、献血活動を展開している。

市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

## 7.担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

7・12日主にある無状 [学初学来であり及/(取込10)するために]							
(1)協働の取組(「新しい公」の推進)							
協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について						
実践している( へ)   ▼	その他団体( へ) ▼						
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について						
実行委員会·協議会設置( へ) ▼	継続実施						
	備考欄						
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さら	に図ることができますか						
現在の手法が妥当である。	▼						
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を	<b>E図ることができますか</b>						
検討の余地がある( 現在考えられる方法·工夫等があれば、備者	考欄へ記載) ▼						
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図るこ	ことができますか						
新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	▼						
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図るこ	とができますか						
検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備者	考欄へ記載) ▼						

8.今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

1/	0.ラ後の手術手乗の万円(黒伏を始まんだ担当主による内部計画)	
И	総合評価(事業の展開方法)	特記事項
	継続(現行どおり)( 理由 (2)へ) ▼	
	(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
	(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
	安全な輸血用血液の確保や各種輸血用製剤の原料となる血液の確保が必要である。	